

授業科目名	アメリカ文学特講II
科目番号	02DS652
単位数	1.5 単位
標準履修年次	1 - 5 年次
時間割	春ABC 火3
担当教員	
授業概要	《アメリカ文学と医学言説》 医学は科学であると同時に言説でもある。この授業は、スーザン・ソントグの「隠喩としての病い」とミシェル・フーコーの『狂気の歴史』『臨床医学の誕生』を足がかりとして、医学言説とアメリカ文学とのあいだの輻輳を論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。講師はアメリカ文学・アメリカ映画における医学言説について講義を行い、履修者はそれぞれの研究テーマにおける医学言説について研究発表を行う。
備考	2020年度より4年おき開講。 2023年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「研究力」「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	カルチュラル・スタディーズの理論と方法を身につけ、それを個別のテーマに応用する能力を身につける。
授業計画	講師による講義とそれについての質疑応答を中心として授業を行う。「論文ワークショップ」と記した回の授業では、受講者が現在執筆中の論文の構想ないし途中稿を発表し、さらなる展開の可能性について、全員で討議する。 ★授業は、コロナ・ウィルスに関わる状況に配慮し、Zoomを用いたオンライン授業として実施する。履修希望者は、開講日までに yoichiro_m@mac.com宛にその旨メールを送信すること。Zoom招待状を折り返し送付する。 ★春Cについては、履修者と日程調整の上、全員の参加可能な日時に集中授業として実施する。 第1回 序論：（講義） 第2回 スーザン・ソントグ「隠喩としての病」（1）（ブック・レポート） 第3回 スーザン・ソントグ「隠喩としての病」（2）（ブック・レポート） 第4回 隠喩としての COVID-19（討議） 第5回 Priscilla Wald, Contagious: Cultures, Carriers, and the Outbreak Narrative. 抜粋（ブック・レポート） 第6回 ナサニエル・ホーソーン「あざ」（発表） 第7回 健全なる身体は…… —隠喩としての健常(1)（講義） 第8回 健全なる身体は…… —隠喩としての健常(2)（講義） 第9回 トマス・エジソン監督『サンドウ』（1894年）（討議） 第10回 D・W・グリフィス監督『酔っ払いの改革』（1909年）（討議） 第11回 アーネスト・ヘミングウェイ「キリマンジャロの雪」（発表） 第12回 FDRと車椅子——「リトル・ホワイトハウス」のニューディール（講義） 第13回 論文ワークショップ（1） 第14回 論文ワークショップ（2） 第15回 論文ワークショップ（3）

履修条件	
成績評価方法	授業参加態度 40%、発表担当40%、期末提出物 20%。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義の内容を踏まえつつ、論文執筆を進め、論文ワークショップにおける発表を準備すること。
教材・参考文献・配付資料等	講義レジュメおよび関連資料は、pdfファイルとしてメール添付で授業前に配信する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	ZOOMを用いて随時面談を行う。授業時に予約を行うこと。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	隠喩としての病、COVID-19、カルチュラル・スタディーズ

授業科目名	アメリカ文学特講III
科目番号	02DS653
単位数	1.5 単位
標準履修年次	1 - 5 年次
時間割	秋ABC 火3
担当教員	
授業概要	《病いとしてのモダニティー》 モダニティーはしばしばデカダンスという隠喩的病いとして語られ、モダニズムはある意味においてそのような隠喩的な病いの治癒方法の探究でもあった。この授業では、病い・身体的障がい・知的障害の表象とモダニズムとのあいだの相関性について論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。講師はモダニズムと医学言説とのあいだの関わりについて講義を行い、履修者は各国文学における病いと障がいの表象について研究発表を行う。
備考	2020年度より4年おき開講。 2023年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「研究力」「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	カルチュラル・スタディーズの理論と方法を身につけ、それを個別の研究テーマに応用する能力を身につける。
授業計画	講師による講義とそれについての質疑応答を中心として授業を行う。「論文ワークショップ」と記した回の授業では、受講者が現在執筆中の論文の構想ないし途中稿を発表し、さらなる展開の可能性について、全員で討議する。 ★授業は、コロナ・ウィルスに関わる状況に配慮し、Zoomを用いたオンライン授業として実施する。履修希望者は、開講日までに yoichiro_m@mac.com宛にその旨メールを送信すること。Zoom招待状を折り返し送付する。 ★秋Cについては、履修者と日程調整の上、全員の参加可能な日時に集中授業として実施する。 第1回 序論： （講義） 第2回 ミシェル・フーコー『狂気の歴史』抜粋（ブック・レポート） 第3回 ミシェル・フーコー『監獄の誕生』抜粋（ブック・レポート） 第4回 シャーロット・パーキンス・ギルマン「黄色い壁紙」（発表） 第5回 ジョン・スタインベック『二十日鼠と人間』抜粋 （発表） 第6回 Robert M. Lindner, The Fifty-Minute Hour: A Collection of True Psychoanalytic Tales より抜粋（発表） 第7回 ショック療法時代の文学と文化（1）（講義） 第8回 ショック療法時代の文学と文化（1）（講義） 第9回 アレン・ギンズバーグ「吠える」（発表） 第10回 ケン・キージー『カッコーの巣の上で』抜粋 （発表） 第11回 アーサー・ペン監督『奇跡の人』（討議） 第12回 バリー・レヴィンソン監督『レインマン』（討議） 第13回 論文ワークショップ（1） 第14回 論文ワークショップ（2）

授業計画	第15回 論文ワークショップ (3)
履修条件	
成績評価方法	授業参加態度 40%、発表担当40%、期末提出物 20%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義の内容を踏まえつつ、論文執筆を進め、論文ワークショップにおける発表を準備すること。
教材・参考文献・配付資料等	講義レジュメおよび関連資料は、pdfファイルとしてメール添付で授業前に配信する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	ZOOMを用いて随時面談を行う。授業時に予約を行うこと。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	療養、知的障がい、モダニズム、ポストモダニズム、カルチュラル・スタディーズ

授業科目名	アメリカ文学特講Ⅳ
科目番号	02DS654
単位数	1.5 単位
標準履修年次	1 - 5 年次
時間割	春AB 火3; 春C 集中
担当教員	宮本 陽一郎
授業概要	《アメリカ文学における空間の詩学 I》 小説というジャンルの研究の焦点が、もっぱら登場人物と時間構造に向けられてきたのは無理からぬことである。しかし小説は真空のなかで展開するわけではなく、作品固有の空間を必ず構築し、それは文学と文学以外の言説とのあいだの結節点として機能する。この授業では空間の詩学という観点からの文学の分析の可能性を探る。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。履修者はそれぞれの研究テーマにおける空間表象について研究発表を行う。
備考	2023年度より4年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「研究力」「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	カルチュラル・スタディーズの理論と方法を身につけ、それを現在の研究に応用する能力を身につける。
授業計画	カルチュラル・スタディーズとして文学研究を行うための要点を解説しつつ、講師による実践例を講義形式で紹介する。「論文ワークショップ」と記した回の授業では、受講者が現在執筆中の論文の構想ないし途中稿を発表し、さらなる展開の可能性について、全員で討議する。 第1回 序論：小説と空間の詩学 （講義） 第2回 ガストン・バシュラル『空間の詩学』第1章 （ブック・レポート） 第3回 Edgar Allan Poe, “The Fall of the House of Usher” （討議） 第4回 ガストン・バシュラル『空間の詩学』第2章 （ブック・レポート） 第5回 Henry David Thoreau, Walden 抜粋 （発表） 第6回 マルティン・ハイデッガー「建てること、住むこと、考えること」、『技術とは何だろうか』 （ブック・レポート） 第7回 ヘミングウェイのキュービズム小説 （講義） 第8回 エドワード・レルフ『場所の現象学——没場所性を超えて』抜粋 （討議） 第9回 世紀末消費文化と自然主義の文学 （講義） 第10回 エドウィン・S・ポーター監督『大列車強盗』 （討議） 第11回 論文ワークショップ (1) 第12回 論文ワークショップ (2) 第13回 論文ワークショップ (3) 第14回 論文ワークショップ (4) 第15回 論文ワークショップ (5)
履修条件	
成績評価方法	授業参加態度 40%、発表担当40%、期末提出物 20%。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義の内容を踏まえつつ、論文執筆を進め、論文ワークショップにおける発表を準備すること。

教材・参考文献・配付資料等	講義レジュメおよび関連資料は、pdfファイルとしてメール添付で授業前に配信する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	ZOOMを用いて随時面談を行う。授業時に予約を行うこと。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	★授業は、コロナ・ウィルスに関わる状況に配慮し、Zoomを用いたオンライン授業として実施する。履修希望者は、開講日までに yoichiro_m@mac.com宛にその旨メールを送信すること。Zoom招待状を折り返し送付する。 ★春Cについては、履修者と日程調整の上、全員の参加可能な日時に集中授業として実施する。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	空間の詩学、カルチュラル・スタディーズ

授業科目名	アメリカ文学特講Ⅴ
科目番号	02DS655
単位数	1.5 単位
標準履修年次	1 - 5 年次
時間割	秋AB 火3; 秋C 集中
担当教員	宮本 陽一郎
授業概要	《アメリカ文学における空間の詩学 II》 空間の詩学についての理論史を踏まえつつ、本授業では20世紀アメリカ文学と地政学との関わりについて、フォークナー、チーヴァー、ギブソンらの作品を論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。履修者はそれぞれの研究テーマにおける空間表象について研究発表を行う。
備考	2023年度より4年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「研究力」「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	カルチュラル・スタディーズの理論と方法を身につけ、それを個別の研究テーマに応用する能力を身につける。
授業計画	講師による講義とそれについての質疑応答を中心として授業を行う。「論文ワークショップ」と記した回の授業では、受講者が現在執筆中の論文の構想ないし途中稿を発表し、さらなる展開の可能性について、全員で討議する。 第1回 Fredrick Jackson Turner, “The Significance of the Frontier in American History” 抜粋 （討議） 第2回 ケニア山を仰ぎ見て——「ジョモ・ケニアッタ」とエスノグラフィー （講義） 第3回 ヨクナパトーフアのインディアン——フォークナーの地政学（講義） 第4回 フォークナーのハイチ （講義） 第5回 Mainstreet U.S.A. （講義） 第6回 ミシェル・ド・セルトー『日常生活のポイエティック』抜粋 （ブック・リポート） 第7回 ノスタルジア——ジョン・チーヴァー「泳ぐ人」における家庭と不在の詩学（講義） 第8回 マリタ・スターケン『アメリカという記憶——ベトナム戦争、エイズ、記念碑的表象』抜粋（ブック・リポート） 第9回 1984——サイバースペースの誕生 （講義） 第10回 スティーブン・リズバーガー監督『トロン』（発表） 第11回 論文ワークショップ（1） 第12回 論文ワークショップ（2） 第13回 論文ワークショップ（3） 第14回 論文ワークショップ（4） 第15回 論文ワークショップ（5）
履修条件	特になし。
成績評価方法	授業参加態度 40%、発表担当40%、期末提出物 20%。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義の内容を踏まえつつ、論文執筆を進め、論文ワークショップにおける発表を準備すること。

教材・参考文献・配付資料等	講義レジュメおよび関連資料は、pdfファイルとしてメール添付で授業前に配信する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	ZOOMを用いて随時面談を行う。授業時に予約を行うこと。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	★授業は、コロナ・ウィルスに関わる状況に配慮し、Zoomを用いたオンライン授業として実施する。履修希望者は、開講日までに yoichiro_m@mac.com宛にその旨メールを送信すること。Zoom招待状を折り返し送付する。 ★秋Cについては、履修者と日程調整の上、全員の参加可能な日時に集中授業として実施する。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	なし。
キーワード	地政学、エスノグラフィー、非場所性、スモールタウン、ディズニー、サイバースペース

授業科目名	国際発表実習I(文学)
科目番号	02DS961
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 - 5 年次
時間割	通年 応談
担当教員	佐野 隆弥
授業概要	文学分野における博士論文を執筆する過程でその研究成果の一部をもって、海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。
備考	指導教員または研究発表の指導を行う教員と事前に相談のうえ、履修登録をすること。
授業方法	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	
授業の到達目標（学修成果）	
授業計画	
履修条件	
成績評価方法	
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	

授業科目名	文学批評研究(1A)
科目番号	02DSA01
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火6
担当教員	青柳 悦子
授業概要	20世紀以降蓄積されてきたさまざまな文学理論を意識しながら、文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な分析対象テキストを紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介されるテキストを授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE01と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	すぐれた先行研究論文をモデルとして、受講生各自が文学研究を学術的に展開する方法を身につける。
授業計画	学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な先行研究を紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。 ガイダンス 海外文学と翻訳作業 文学研究と文化研究 モデル論文(1)ジャンル論 モデル論文(2)文芸雑誌研究 モデル論文(3)文学研究と歴史研究 モデル論文(4)古典的作品の再解釈 モデル論文(5)文学研究と教育学 モデル論文(6)西洋と東洋の文学伝統 総括
履修条件	
成績評価方法	授業参加態度30%、発表担当40パーセント、期末提出物30%。 期末提出物では、自分の研究課題に関する先行研究の概括と、自分の問題設定の提示をおこなってもらう。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎週の予習として、教員・発表者が事前に配布・配信する資料の読み込み。 自分の担当の準備。
教材・参考文献・配付資料等	教室で指示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜3時限目 人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞ	初回授業の日時(4月28日午後)にmanabaの「比較文学」のコースにアクセスしてください

むことや受講上の注意 点等)	い。あらかじめTwinsでの登録が必要です。manabaのコースにアクセスできない人は、 aoyagi.etsuko.gn@u.tsukuba.ac.jp にメールを送ってください。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	文学理論，現代文学，研究方法

授業科目名	文学批評研究(1B)
科目番号	02DSA02
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火6
担当教員	青柳 悦子
授業概要	文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な先行研究を紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。
備考	西暦偶数年度開講。 OABAE02と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	すぐれた批評的・理論的著作を対象文献として指定し、毎回担当者を決めた輪読形式で読み進めることにより、文学研究を遂行するための基礎的な知識を身につけ、分析と論述の手法について学ぶ。
授業計画	日本の「文学理論」を概観した近年の著作をとりあげ、作品の読解に留まらない文学研究アプローチの開拓について学ぶ。 この授業は、基本的にTeamsを用いたオンライン・ライブ方式で実施し、資料等をmanabaで共有する。 受講者は、初回授業日10月6日(火)15:15~に、この授業用のTeamsでのオンライン会議に参加すること。 総論、ガイダンス (大浦康介編『日本の文学理論--アンソロジー』の紹介と、授業の進め方) 1「小説論」をめぐる 2「描写論」をめぐる 3「物語論」をめぐる 4「詩的言語」をめぐる 5「フィクション論」をめぐる 6「読者論」をめぐる 7「起源論・発生論」をめぐる 8「文学とは何か」をめぐる 総括
履修条件	
成績評価方法	授業参加態度70%、期末課題30%。 期末課題では、この著作の末尾の小論文から1つを選んで、今学期の学習内容と連携させながら論じる。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎週の対象テキストの読み込み。

教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜3時限目 人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	文学批評，文学理論，文学研究法

授業科目名	文学批評研究(2A)
科目番号	02DSA03
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火6
担当教員	青柳 悦子
授業概要	方法論的意識をより拡充しながら、文学研究を学術的に展開するための能力を高める。とりわけ近年の新たな研究動向に着目し、これからの文学研究に必要な着眼点や有効な問題設定を抽出する。先行研究からとりわけ分析の手法と論述の技法を学び、みずからの研究活動に生かすために、教員および学生各自が自分の研究と関わる優れた著作・論文を選んで紹介するとともに批評的な分析を加える。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE03と同一。 対面 人社棟A203
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	研究対象作品の綿密な分析にもとづき、受講生各自が文学研究を学術的に展開する方法を深化させる。
授業計画	学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究の進展にとって重要な対象作品（の抜粋）をあらかじめ提示し、発表担当回においてはその分析と、それをもとにした研究の展開方向を示す。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。 ガイダンス： 文学研究法の動向について 学生発表(1) 学生発表(2) 学生発表(3) 学生発表(4) 学生発表(5) 学生発表(6) 学生発表(7) 総括
履修条件	
成績評価方法	1評価方法：授業参加態度(参加準備を含む)、発表担当、期末提出物 2評価の分配割合：参加態度30%、発表担当40%、期末提出物30%。 期末提出物では、発表内容を発展させて、自分の研究課題に関する先行研究の概括と、自分の問題設定の提示をおこなってもらう。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎週の予習として、教員・発表者が事前に配布・配信する資料の読み込み。 自分の担当の準備。 授業後の発展的討議(manaba掲示板による)および発展的研究作業。
教材・参考文献・配付資料等	教室で指示する。
オフィスアワー等（連	木曜3時限目

絡先含む)	人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	文学理論，現代文学，研究方法

授業科目名	文学批評研究(2B)
科目番号	02DSA04
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火6
担当教員	青柳 悦子
授業概要	文学研究能力を高め、必要な基礎知識を確かなものとすると同時に、将来の文学教育者としての基礎的な資質を養うためにも、文学批評概説ないし文学研究入門書の一項目を受講生各自が試行的に執筆する。モデルとして、橋本陽介『物語論 基礎と応用』、丹治愛・山田広昭『文学批評への招待』、土田知則・青柳悦子『文学理論のプラクティス』、廣野由美子『批評理論入門―『フランケンシュタイン』解剖講義』などを用いる。学生各自が選んだ対象作品について、構想の作成、素案執筆、学生相互の批評を経た推敲をおこない、学術的信頼を獲得しうる水準にまで高めていく。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE04と同一。 対面 人社A203
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	文学研究能力を高め、必要な基礎知識を確かなものにする。文学専攻の大学院生としての、また将来の文学研究者としての基礎的な資質を養う。
授業計画	受講生各自が、自分の研究にとって重要な意味をもつすぐれた先行研究を選定し、あらかじめ受講者に提示する。発表回では、先行研究を批判的に検討しながら、自分の研究の発展方向について議論する。 ガイダンス 学生の発表（1） 学生の発表（2） 学生の発表（3） 学生の発表（4） 学生の発表（5） 学生の発表（6） 学生の発表（7） 学生の発表（8） 総括
履修条件	
成績評価方法	1 成績評価方法:授業参加態度(授業準備を含む)、期末課題40%。 2 成績評価の割合:参加態度60%、期末課題40%。 期末課題では、この学期の学修内容を発展させ、批評概念項目と分析の最終版を提出する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎週の課題に沿った授業参加のための準備作業。 授業後の発展的研究作業。
教材・参考文献・配付資料等	詳しくは教室で指示する。
オフィスアワー等（連	木曜3時限目

絡先含む)	人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	文学批評，文学理論，文学研究法

授業科目名	文学研究発表演習A
科目番号	02DSA05
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春AB 木6
担当教員	加藤 百合, 青柳 悦子, 齋藤 一, 吉原 ゆかり
授業概要	受講者全員が研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における論文執筆や学会発表の方法の基礎を実践的に学ぶ。発表者は、必ずしも完成された研究内容でない萌芽的な研究であっても、問題意識を鮮明にし、先行研究を概観しつつ当該研究の位置づけを示し、的確に対象テキストの分析をおこなったうえで有意義な考察を展開するよう努め、その成果を学術的な形式にのっとって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための改善策を検討し、建設的な発言能力を磨く。
備考	0ABAE05と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」「4.チームワーク力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「3.倫理観」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	受講者全員が研究発表を行い、ディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における論文執筆や学会発表の方法の基礎を実践的に身につける。
授業計画	毎回、受講者による研究発表と、それをもとにしたディスカッションをおこなう。 必要に応じて、講演を交える。 ガイダンス、発表の割り振り 教員による学術講演 受講生による発表(1) 受講生による発表(2) 受講生による発表(3) 受講生による発表(4) 受講生による発表(5) 受講生による発表(6) 受講生による発表(7) 受講生による発表(8)
履修条件	履修登録せずに授業参加を希望する人は、青柳aoyagi.etsuko.gn@u.tsukuba.ac.jp に連絡を取り、Teamsに参加する態勢を整えておく。
成績評価方法	発表内容50%、毎週のディスカッション参加態度50%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	受講生は発表者が事前に伝える資料を読んで事前学習をおこなう。 自分の発表については十分な準備を重ねる。
教材・参考文献・配付資料等	発表1週間前 暫定版の発表資料を、メールで履修者全員に配布する。授業参加者は、授業当日までに、暫定版に目を通しておく。 授業当日までに 暫定版をアップデートした、当日版発表資料を、Teams, manabaにアップロードする。この当日版発表資料に基づいて、発表を行う。
オフィスアワー等（連絡先含む）	加藤 百合 QWP10153 at nifty.com 青柳 悦子 木曜3時限目 人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp

オフィスアワー等（連絡先含む）	齋藤 一 人文社会学系棟 A510 saito.hajime.gn at u.tsukuba.ac.jp http://www.trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000000184
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	対面で実施します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TA1名あり。
キーワード	文学研究法，発信力，発表力，研究交流

授業科目名	文学研究発表演習B
科目番号	02DSA06
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋AB 木6
担当教員	加藤 百合, 青柳 悦子, 齋藤 一, 吉原 ゆかり
授業概要	受講者全員がより高度な学術的水準をめざして研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における学術論文執筆や学会発表の洗練方法を実践的に学ぶ。発表者は学位論文に結実することを念頭においた研究発表をおこない、問題意識を深化させ、先行研究を批判的に概観しつつ当該研究の独自性を示し、的確かつ説得力ある対象テキスト分析をおこなったうえで学界に寄与する考察を展開するよう努め、その成果を完成度の高い学術的形式にのっとりて発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための有効な改善策を検討し、建設的な発言能力を一層磨いて、学術交流のための資質を高める。
備考	OABAE06と同一。 対面 教室は人社棟A520
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「3.コミュニケーション能力」「4.チームワーク力」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「3.倫理観」「4.思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	受講者全員がより高度な学術的水準をめざして研究発表を行い、ディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における学術論文執筆や学会発表の洗練方法を実践的に身につける。
授業計画	毎回、受講者による研究発表と、それをもとにしたディスカッションをおこなう。 必要に応じて、講演を交える ガイダンス、発表の割り振り 受講生による発表(1) 受講生による発表(2) 受講生による発表(3) 受講生による発表(4) 受講生による発表(5) 受講生による発表(6) 受講生による発表(7) 受講生による発表(8) 受講生による発表(9)
履修条件	
成績評価方法	発表内容50%、毎週のディスカッション参加態度50%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	受講生は発表者が事前に伝える資料を読んで事前学習をおこなう。 自分の発表については十分な準備を重ねる。
教材・参考文献・配付資料等	毎回の資料として、発表(担当)者がハンドアウトを準備して履修者全員に配布する。 また受講者が事前に読んでおくべき資料として、発表者はその暫定版を予示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	加藤 百合 QWP10153 at nifty.com 青柳 悦子 木曜3時限目 人文社会学系棟 B417 aoyagi.etsuko.gn at u.tsukuba.ac.jp 齋藤 一

オフィスアワー等（連絡先含む）	人文社会学系棟 A510 saito.hajime.gn at u.tsukuba.ac.jp http://www.trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000000184 吉原 ゆかり 木3限 人文社会学系棟 A515 yoshihara.yukari.fp at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TA1名あり。
キーワード	文学研究法，発信力，発表力，研究交流

授業科目名	文学理論研究(2A)
科目番号	02DSA09
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 月3
担当教員	齋藤 一
授業概要	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメーシス』(日本語訳上・下巻)などを、主に日本語訳を利用しながら講読することで、文学における「リアル」とは何かということについて学ぶ。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE09と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス「専門知識」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメーシス』(日本語訳、上下巻)の下巻をゼミ形式で輪読する。なお、初回と2回目は上巻第1章と第2章の解説を行う。
授業計画	授業全体の概要、アウエルバッハ『ミメーシス』上巻第1章の解説。 『ミメーシス』上巻第2章の解説。 モンテーニュ『エッセー』第3巻第2章冒頭部について問題点を指摘する。 『ミメーシス』下巻第12章「人間の本性」について発表し、議論する。 アウエルバッハが下巻第13章で引用・分析したシェイクスピア作品(抜粋)について問題点を指摘する。 『ミメーシス』下巻第13章「疲れた王子」について発表し、議論する。 スタンダール『赤と黒』第2巻第4章について問題点を議論する。 『ミメーシス』下巻第18章「ラ・モール邸」について発表し、議論する。 『ミメーシス』下巻第20章「茶色の靴下」について、全員で議論する。 『ミメーシス』下巻の授業で扱った箇所とそれ以外の箇所について、全員で議論する。
履修条件	古典的な批評を、現代の文脈や各自の関心に対応させつつ、丁寧に読む根気が必要である。
成績評価方法	ディスカッションへの貢献度(10%)、担当回のレジメと発表(10%)、レポート(80%)によって評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	篠田一士・川村二郎訳『ミメーシス』下巻(ちくま文芸文庫、1994年)を教科書とする。入手しづらい者は事前に齋藤まで連絡すること。なお、モンテーニュ、シェイクスピア、スタンダール、ウルフの該当作品・箇所は各自で用意して予習しておくこと。
オフィスアワー等(連絡先含む)	月4限。これ以外の日に面談したい者はメールにて予約すること。 人文社会学系棟 A510 saito.hajime.gn at u.tsukuba.ac.jp http://www.trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000000184
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意)	文学理論や批評を深く知るためには、その対象となっている作品を事前に読んでおくことが必須である。

点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	TAの配置はなし。
キーワード	ミメーシス、アウエルバッハ、歴史、ジャンル、figura、リアリズム

授業科目名	文学理論研究(2B)
科目番号	02DSA11
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 月3
担当教員	齋藤 一
授業概要	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、フレドリック・ジェイムソン『政治的無意識』の日本語訳などを、英語原典を参考にしながら講読することで、構造主義詩学とマルクス主義批評の根本的発想を学ぶ。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE11と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	フレドリック・ジェイムソン『政治的無意識』（日本語訳）を精読することで、1970年代後半以降のマルクス主義文学（文化）批評理論の基本的コンセプトを学ぶ。
授業計画	授業全体の概要、古典的なマルクス主義文学批評について解説する。 序論 第1章：解釈、文学、socially symbolic act 第2章：弁証法、ジャンル論（その1） 第2章：弁証法、ジャンル論（その2） 第3章：リアリズム、欲望、バルザック 第4章：ルサンチマン、ジャンルの不連続、ギッシング 第5章の予習：コンラッド『ロード・ジム』について議論する 第5章の予習：コンラッド『ノストローモ』について議論する 第5章：ロマンス、物象化、コンラッド
履修条件	
成績評価方法	ディスカッションへの貢献度(10%)、担当回のレジメと発表(10%)、レポート(80%)によって評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	平凡社ライブラリー版の翻訳を各自で用意しておくこと。
オフィスアワー等（連絡先含む）	月4限。これ以外の日に面談したい者はメールにて予約すること。 人文社会学系棟 A510 saito.hajime.gn at u.tsukuba.ac.jp http://www.trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000000184
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	授業で指定された作品（主にコンラッド）は各自で入手して予習しておくこと。入手が難しい場合は齋藤まで事前に連絡すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー	TAの配置はなし。

(TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	ジェイムソン、マルクス主義、構造主義、ポスト構造主義、歴史、移行期、生産様式、 準＝自律性、ジャンル論、弁証法

授業科目名	文学交流論演習(1A)
科目番号	02DSA12
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火3
担当教員	吉原 ゆかり
授業概要	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品を精読する。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法を習得する。植民地出身者が宗主国語で書いた作品や、テキストで用いられる言語を第一言語としない人により書かれた作品、高級文化とポピュラー・カルチャーを交錯させる作品など、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品を取り上げる。
備考	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 OABAE12と同一。 対面 人社A203
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス 知の活用力、国際性に関連する。 専門コンピテンス 研究力、専門知識、思考力に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品を精読する力を身に着けることができる。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法(英語・日本語)、研究資料調査方法を習得することができる。
授業計画	GHQ占領期の異人種恋愛・結婚を描いた有吉佐和子『非色』(1969)を精読し、関係資料の調査を行い、発表資料を作成、口頭発表を行うことで、占領期について国際的な視点から理解し、得られた知を活用し、研究力を高め、専門知識を獲得し、ジェンダーと人種、国家権力のインターセクションを深く考察する思考力を養う 4/19 イン트로ダクション 発表順番決定 4/26 レクチャー 1 ジェンダー化される軍事占領 5/6 (土) レクチャー 2 人種的マイノリティ内部の階層 5/10 レクチャー 3 新川明「有色人種」を補助線として 5/17 レクチャー 4 島尾敏雄 奄美大島＝プエルト・リコを補助線として 5/31 学生発表 1 6/7 学生発表 2 6/14 学生発表 3 6/21 学生発表 4 6/28 まとめ 試験に代えて期末課題を課す。
履修条件	
成績評価方法	授業への積極的な参加25%, 中間課題25%, 期末課題50%を基準に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業時間外に、インターネットや図書館、国会図書館デジタル配信などでの資料調査を行い、manabaに結果をアップロードする。

教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木3限 人文社会学系棟 A515 yoshihara.yukari.fp at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	階級，ジェンダー、人種、占領、冷戦

授業科目名	文学交流論演習(1B)
科目番号	02DSA13
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 月2
担当教員	吉原 ゆかり
授業概要	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流についての理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキストの精読を行う。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法、研究倫理を習得する。ジェンダー論、ポストコロニアル理論をとくに重視する。LGBTQ、女性、人種的マイノリティなど、社会的弱者によって/ついて書かれたテキスト作品を重視する。
備考	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 0ABAE13と同一。 対面 人社A203
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス 知の創成力、国際性 専門コンピテンス 研究力、専門知識、倫理観、思考力に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品とそれに関する英語・日本語論文を精読する力を身に着けることができる。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法(英語・日本語)、研究資料調査方法を習得することができる。
授業計画	アメリカ占領下の沖縄を描いた喜劇V. Snyder, Teahouse of August Moonを読み、原作と映画の差異に注目し、関連同時代資料を検討することで、国際的な視野をもってアメリカ沖縄占領について考察する創成的な知を獲得し、文学・文化テキストを詳細によむ研究力、専門知識、思考力を身につけ、研究倫理を身につける。 10/3 インTRODakション 発表順番決定 10/10 (祝) 占領軍の教育行政 10/17 レクチャー2 10/17. ジェンダー化される軍事支配とその脱臼 10/24 映画版で沖縄人をマーロン・ブランドが演じる意味 10/31 Sayonaraとの対比 11/14 学生発表 1 11/21 学生発表 2 12/5 学生発表 3 12/12 学生発表 4 12/19 まとめ 試験の代わりに期末課題を課す。
履修条件	
成績評価方法	授業への積極的な参加25%, 中間課題25%, 最終課題50%を基準に評価する。 期末課題は、自分が選んだテキスト作品に関して、ポストコロニアル批評を適用した学術分析を行う。日本語10,000字、英語5000ワード目安。形式面も評価対象とする。
学修時間の割り当て及	授業時間外において、関連した同時代資料、先行研究、類似したテーマをもつ作品につ

び授業外における学修方法	いて自習を行う。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木3限 人文社会学系棟 A515 yoshihara.yukari.fp at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	階級，ジェンダー，人種、占領、沖縄、植民地支配

授業科目名	文学交流論演習(2A)
科目番号	02DSA14
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火3
担当教員	吉原 ゆかり
授業概要	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための基礎力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読を合わせて行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE14と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用 知の活用力、国際性 専門 研究力、専門知識、倫理観、思考力
授業の到達目標(学修成果)	文学交流に関する、英語で書かれた学術論文を読み解く力を身に着けることができる。
授業計画	4/19 インTRODクシヨN 4/26 序文・本文・結論 5/6 (金) theses statement(s) 問題規定文 5/10 literature review 先行研究の検討 5/17 topic sentence 1 1パラグラフ＝1トピック。重要なことはパラグラフの最初に。 5/31 topic sentence 2 英語の論文(形式で書く日本語の論文)では、「起承転結」の「転」は不要 6/7 topic sentences 3 パラグラフの最後に、topic sentenceを確認し、拡充する sentence 6/ 14 quotations and summaries 引用の作法 6/21 linkers 論理構成を明確にするための「つなぎことば」 6/28 notes, bibliography 注、参考文献一覧の作法 期末課題を課す。 対面授業
履修条件	
成績評価方法	積極的授業参加50%＋期末課題50%を基本に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外で、文学交流に関する英語で書かれた学術論文について、自修・関連文献調査を行う。
教材・参考文献・配付資料等	Hiromi Ochi, "Democratic Bookshelf: American Libraries in Occupied Japan", Greg Barnhisel and Catherine Turner (eds.), Pressing the Fight: Print, Propaganda, and the Cold War (Amherst and Boston: University of Massachusetts Press, 2010), pp. 89-111. Etsuko Taketani, "The Swing and the Sword in the Black Mikados,"

教材・参考文献・配付資料等	The Black Pacific Narrative (Hanover, New Hampshire: Dartmouth College Press, 2014).
オフィスアワー等（連絡先含む）	木3限 人文社会学系棟 A515 yoshihara.yukari.fp at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	ポストコロニアル批評、文学、ジェンダー、階級、文化

授業科目名	文学交流論演習(2B)
科目番号	02DSA15
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火3
担当教員	吉原 ゆかり
授業概要	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、図像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相に関する理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、学術・研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための応用力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読スキル育成を行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象、文化序列に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE15と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用 知の活用力、国際性 専門 研究力、専門知識、倫理観、思考力
授業の到達目標（学修成果）	文化交流を描いた日本語テキスト文化作品を精読し、知の活用力、国際性、研究力、専門知識、倫理観、思考力を身につけることができる。
授業計画	10/4 イン트로ダクション 10/11 作品の1/3 テキスト分析 10/18 作品の2/3 テキスト分析 10/25 作品の3/3 テキスト分析 11/1 トピック1 日本語文学に描かれたアジア 1 11/15 トピック1 日本語文学に描かれたアジア 1 11/22 トピック2 冷戦と日本文学 1 12/6 トピック2 冷戦と日本文学 2 12/13 トピック3 文学とインテリジェンス 1 12/20 トピック4 文学とインテリジェンス 2 期末に課題を課す。
履修条件	
成績評価方法	授業への積極的な参加50%、期末課題50%を基準に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外で課題作品を読み、周辺情報を調べる自修を行う。
教材・参考文献・配付資料等	堀田善衛「広場の孤独」
オフィスアワー等（連絡先含む）	木3限 人文社会学系棟 A515 yoshihara.yukari.fp at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	

ティーチングフェロー (TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	国際交流、文化交流、ジェンダー、植民地主義、階級

授業科目名	比較文学研究(1B)
科目番号	02DSA17
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木3
担当教員	加藤 百合
授業概要	明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。まずは二次資料による現在の解釈を離れて、文献を初出の形で読むことによる研究方法を学ぶ。受講者の知識の領域や興味の範囲を勘案してより具体的な計画をたてる。自らが研究している領域のなかから翻訳・翻案に関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。
備考	西暦偶数年度開講。 OABAE17と同一。 発表、個別指導などを対面で実施。
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「国際性」「研究力」「専門知識」「思考力」
授業の到達目標（学修成果）	文学史についての専門知識を深めるために、近代に書かれた文章を初出のかたちで丁寧に講読する。同時代の発言や歴史状況を踏まえて的確に主張を捕捉する思考力を高め研究力を涵養する。
授業計画	近代日本文学の土壌となった時代思想が読み取れるような優れた回想をとりあげ、演習形式で講読を分担しつつ、背景となる時代について、歴史的事象や文芸思潮について、同時代人との対照性について、議論と調査を行う訓練をする。
履修条件	正規のプログラム生以外は前もって相談してください。
成績評価方法	毎回の授業への積極的参加(担当箇所については、文章を読み辞書のおよび事典的意味の不明な個所がないように、説明できるように、十分準備をして臨む。文献の中から問題を設定しテーマを設定して発表する。全員で議論を行い、知識情報の補足を行い、他の事例との対比などを絶えず取り入れながら理解を深める)。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講読演習(100%)。講読対象文献および発表テーマのための文献について、予め十分読み込んで自分なりの理解をして授業に臨むこと。発表のレジメ(資料)を人数分つくってこること。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	随時対応する。メールで面談を予約してください。(QWP10153@nifty.com)
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置無し
キーワード	文学史，散文・韻文，文体，文学論争，時代思潮，翻訳・翻案，文学受容

授業科目名	比較文学研究(2A)
科目番号	02DSA18
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木3
担当教員	加藤 百合
授業概要	比較文学のひとつの基本的研究としてジャンル研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で検証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE18と同一。 対面 人社棟A520
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	国際性、研究力、専門知識、思考力
授業の到達目標（学修成果）	文学史についての専門知識を深めるために、近代に書かれた文書を初出のかたちで丁寧に読む。同時代の発言や歴史状況を踏まえて的確に主張を補足する思考力を高め研究力を鍛える。
授業計画	初回講読する基本のテキストを選定し、その文献についての導入講義を行う。また基本的な授業の進め方を周知する。その後は担当者を決めて毎回演習形式とする。担当者の発表の後全員でディスカッションを行う。 導入講義 テキストについて 講読準備方法について 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション 受講者が担当して担当部分をもとにした発表を行う。その後全員でディスカッション
履修条件	人文学学位プログラム、文学サブプログラム以外の履修希望者は応談
成績評価方法	担当を決めての分担発表を基本とする。履修者皆で読むべき資料を設定し、下準備をして、自ら問題意識をもって講読できるようにする。また、他の履修者の発表や文章について、理解するまで積極的に取り組み、自分の研究対象に視点を応用できるようにする。このようなたがいの切磋琢磨を通じて視野を広め考えを深められるようにする。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講読演習(50%)。講読対象文献および発表テーマのための文献について、予め十分読み込んで自分なりの理解をして授業に臨むこと。発表のレジメ(資料)を人数分つくってこること。課題提出(50%)発表担当者以外も全員授業当日までに、準備として読んでおくべきもの、調べておくべきことなどをTeamsを利用して周知する。
教材・参考文献・配付資料等	必要に応じて、授業前までに配布する。あるいは、担当者が全員分の配布資料を作成しておく。
オフィスアワー等（連絡先含む）	メールで連絡の上随時応談 QWP10153 at nifty.com

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	初回の授業登録が終わっていない受講予定者は、加藤のメールアドレスに受講希望の旨、ご連絡をください。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	文学史，散文・韻文，文体，文学論争，時代思潮，翻訳・翻案，ジャンルへの翻案

授業科目名	比較文学研究(2B)
科目番号	02DSA19
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木3
担当教員	加藤 百合
授業概要	明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。近代文学を歴史的に、当時のままの形(初出形態かそれを代替するもの)で丁寧に読み、時代状況のなかに位置づける訓練をする。必要な資料と適切なテキストを準備しそれを読む。基本的に演習形式で行なう。自らが研究している領域のなかから外国文学受容とジャンルに関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE19と同一。 対面 人社棟A520
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	国際性、研究力、専門知識、思考力
授業の到達目標（学修成果）	文学史についての専門知識を深めるために、近代に書かれた文書を初出のかたちで丁寧に読む。同時代の発言や歴史状況を踏まえて的確に主張を補足する思考力を高め研究力を涵養する。
授業計画	初回基本的な授業の進め方を周知する。その後は担当者を決めて毎回演習形式とする。対面授業が好ましくない状況のときには、Teamsを利用する。個別指導は受講者に公開し、ピアに学ぶ。 導入講義 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表 担当者による講読発表
履修条件	人文学学位プログラム、文学サブプログラム以外の履修希望者は応談
成績評価方法	担当を決めての分担発表を基本とする。履修者皆で読むべき資料を設定し、下準備をして、自ら問題意識をもって講読できるようにする。また、他の履修者の発表や文章について、理解するまで積極的に取り組み、自分の研究対象に視点を応用できるようにする。このようなたがいの切磋琢磨を通じて視野を広め考えを深められるようにする。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講読演習(50%)。講読対象文献および発表テーマのための文献について、予め十分読み込んで自分なりの理解をして授業に臨むこと。発表のレジメ(資料)を人数分つくってくる。課題提出(50%)。発表担当者以外も全員授業当日までに、準備として読んでおくべきもの、調べておくべきことなどを周知する。
教材・参考文献・配付資料等	必要に応じて、授業前までに配布する。あるいは、担当者が全員分の配布資料を作成しておく。

オフィスアワー等（連絡先含む）	メールで連絡の上随時 QWP10153 at nifty.com
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	文学史，散文・韻文，文体，文学論争，時代思潮，翻訳・翻案，ジャンルへの翻案

授業科目名	古典古代学研究(1B)
科目番号	02DSA22
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 金5
担当教員	秋山 学
授業概要	春学期に引き続き、旧約聖書研究を行う。原典をヘブライ語で講読するとともに、ギリシア教父の注釈・新約聖書における受容などを勘案して総合的に考察する。今学期は詩編研究を中心に据える予定。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE22と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「1:知の活用力」「5:国際性」、専門コンピテンス「1:研究力」「2:専門知識」「4:思考力」に対応する。
授業の到達目標（学修成果）	春学期からの継続。旧約聖書の原典を講読研究しつつ、後世における受容史を顧みる意味で、ギリシア教父の注釈や新約聖書における理解を参照する。ヘブライ語およびギリシア語原典に即して研究する文献学の鍛錬を行う。原典研究を、注釈に対する確かな読解力に基づきつつ遂行するとともに、それを論文執筆へと展開する力を涵養する。「知の活用力」「国際性」「研究力」「専門知識」「思考力」の向上に寄与する。
授業計画	旧約聖書『詩編』の中からいくつかを選択し、注釈をひもときながら講読する。 対面の予定であるが、適宜manabaを通じてオンライン・オンデマンドの授業を行います。オンライン授業に参加するための詳細な情報はmanabaの当該コースに掲載します。 詩編第20編 詩編第23編 詩編第27編 詩編第34編 詩編第42編 詩編第46編 詩編第48編 詩編第49編 詩編第51編 詩編第56編 学期末試験
履修条件	ヘブライ語・ギリシア語を履修していなくても差し支えない。
成績評価方法	A. 期末教場レポート（60%）：授業内容の理解度を判定する問題を出すので、レポートを作成して提出してもらう。 B. 授業内提出物（40%）：manabaの小テスト欄に各回講義のキーワードを数個記入してもらい評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	古典語の文法知識を確実にすべく予習復習、文法書の確認に時間を割かれたい。
教材・参考文献・配付資料等	必要なテキストは適宜コピーして配布する。
オフィスアワー等（連	akiyama.manabu.gf@u.tsukuba.ac.jpに適宜連絡を取られたい。

絡先含む)	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	対面で行います.
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	旧約聖書，ヘブライ語，ギリシア語，文献学.

授業科目名	古典古代学研究(2A)
科目番号	02DSA23
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 金5
担当教員	秋山 学
授業概要	旧約聖書研究。翻訳受容史を含めた旧約聖書テキストについて、最近の研究動向を注視しながら文献学的に検討する。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE23と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「1:知の活用力」「5:国際性」、専門コンピテンス「1:研究力」「2:専門知識」「3:倫理観」「4:思考力」に対応する。
授業の到達目標（学修成果）	旧約聖書を原典で講読する。文献学への影響関係にも注意を払うことができるようになる。「知の活用力」「国際性」、「研究力」「専門知識」「思考力」の向上に寄与する。
授業計画	聖書学成立の歴史的背景や、言語学的な側面などについても注意を払う。ヘブライ語については、必要に応じて適宜説明を行う。 対面授業を行う予定。 詩編第3編 詩編第38編 詩編第63編 詩編第88編 詩編第103編 詩編第143編 詩編第51編 詩編第5編 詩編第90編 詩編第101編 学期末試験
履修条件	古典語の既習・未修については問わない。
成績評価方法	A. 期末教場レポート（60%）：授業内容の理解度を判定する問題を出すので、レポートを作成して提出してもらう。 B. 授業内提出物（40%）：manabaの小テスト欄に各回講義のキーワードを数個記入してもらい評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	文法書の確認に時間を割かれない。
教材・参考文献・配付資料等	必要なテキストは適宜コピーして配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	オフィスアワー（火曜日随時）に面談（オンライン含む）を行う。事前にメールで連絡されたい。akiyama.manabu.gf@u.tsukuba.ac.jp。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意	古典語初級は学類対象に開講しているが、履修希望者は適宜相談されたい。

点等)	他の授業科目との関連:学類対象のラテン語・ギリシア語初級,古典文学史など,必要に応じて聴講されたい.適宜教員に連絡して相談されたい.
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	古典古代学 (ギリシア語, ラテン語, ヘブライ語)。文献伝承史。

授業科目名	古典古代学研究(2B)
科目番号	02DSA24
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 金5
担当教員	秋山 学
授業概要	旧約聖書研究。翻訳受容史を含めた旧約聖書テキストについて、最近の研究動向を注視しながら文献学的に検討する（春学期の継続）。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE24と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「1:知の活用力」「5:国際性」、専門コンピテンス「1:研究力」「2:専門知識」「4:思考力」に対応する。
授業の到達目標（学修成果）	春学期に続き、旧約聖書（特に詩編）を原典で講読し、文献学的読解力を高める。「知の活用力」「国際性」、「研究力」「専門知識」「思考力」の向上に寄与する。
授業計画	詩編を1編ずつ、原典・古代語訳を参照しつつ文献学的に熟読する（春学期の継続）。 詩編第17編 詩編第25編 詩編第54編 詩編第55編 詩編第91編 詩編第84編 詩編第85編 詩編第86編 詩編第70編 詩編第34編 学期末試験
履修条件	ヘブライ語の既習・未修については問わない。
成績評価方法	A. 期末教場レポート（60%）：授業内容の理解度を判定する問題を出すので、レポートを作成して提出してもらう。 B. 授業内提出物（40%）：manabaの小テスト欄に各回講義のキーワードを数個記入してもらい評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	文法書の確認に時間を割かれない。
教材・参考文献・配付資料等	必要なテキストは適宜コピーして配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	オフィスアワー（火曜日随時）に面談（オンライン含む）を行う。事前にメールで連絡されたい。akiyama.manabu.gf@u.tsukuba.ac.jp。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	古典語初級は学類対象に開講しているが、履修希望者は適宜相談されたい。 他の授業科目との関連:学類対象のラテン語・ギリシア語初級,古典文学史など,必要に応じて聴講されたい.適宜教員に連絡して相談されたい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー	

(TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	古典古代学（ギリシア語, ラテン語, ヘブライ語）。

授業科目名	古典古代学演習(2A)
科目番号	02DSA27
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 金1
担当教員	秋山 学
授業概要	Under the general theme of the "Sheol and Grace in the Psalms", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE27と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	Related to the "Generic Competences": 1) Capacity to Leverage Academic Knowledge, 5) Global Awareness, and to the "Specific Competences": 1) Research Ability, 2) Expertise Acquisition, 3) Sense of Ethics, 4) Thinking Ability.
授業の到達目標（学修成果）	Research into the topics in the Psalms: especially on the relation between the concept of "Sheol" and "Grace". Our philological investigation and discussion will contribute to the improvement of the "Capacity to Leverage Academic Knowledge", "Global Awareness", "Research Ability", "Expertise Acquisition", "Sense of Ethics", and "Thinking Ability".
授業計画	Philological reading in the Original Language of the Psalms, in Hebrew: in this semester, especially of Ps. 6, 9, 16, 18, 30. Psalm 6 (1) Psalm 6 (2) Psalm 9 (1) Psalm 9 (2) Psalm 16 (1) Psalm 16 (2) Psalm 18 (1) Psalm 18 (2) Psalm 30 (1) Psalm 30 (2) Term examination.
履修条件	We do not require the knowledge of the Hebrew.
成績評価方法	a. Term examination or report: 60%. b. Papers to be submitted in the term: 40%.
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	Please be familiar with the Psalms and the Old Testament.
教材・参考文献・配付資料等	Texts will be photocopied and distributed in the class.
オフィスアワー等（連絡先含む）	Please contact akiyama.manabu.gf@u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞ	In the frame of Online-OnDemand.

むことや受講上の注意 点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	Psalms, Sheol, Grace; Old Testament, Theology

授業科目名	古典古代学演習(2B)
科目番号	02DSA28
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 金1
担当教員	秋山 学
授業概要	Under the general theme of the "Sheol and Grace in the Psalms", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE28と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	Related to the "Generic Competences": 1) Capacity to Leverage Academic Knowledge, 5) Global Awareness, and to the "Specific Competences": 1) Research Ability, 2) Expertise Acquisition, 3) Sense of Ethics, 4) Thinking Ability.
授業の到達目標（学修成果）	Research into the topics of the Psalms: especially on the relation between the concept of "Sheol" and "Grace", Our philological investigation and discussion will contribute to the improvement of the "Capacity to Leverage Academic Knowledge", "Global Awareness", "Research Ability", "Expertise Acquisition", "Sense of Ethics", and "Thinking Ability" (Sequel to the previous semester).
授業計画	Philological reading in the Original Language of the Psalms, in Hebrew: in this semester, especially of Ps. 49, 88, 89, 116, 139. Psalm 49 (1) Psalm 49 (2) Psalm 88 (1) Psalm 88 (2) Psalm 89 (1) Psalm 89 (2) Psalm 116 (1) Psalm 116 (2) Psalm 139 (1) Psalm 139 (2) Term examination.
履修条件	We do not require the knowledge of the Hebrew.
成績評価方法	a. Term examination or report: 60%. b. Papers to be submitted in the term: 40%.
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	Please be familiar with the Psalms and the Old Testament.
教材・参考文献・配付資料等	Texts will be photocopied and distributed in the class.
オフィスアワー等（連絡先含む）	Please contact akiyama.manabu.gf@u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞ	In the frame of the Online-OnDemand.

むことや受講上の注意 点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	Psalms, Sheol, Grace; the Old Testament, Theology.

授業科目名	和漢比較文学研究(2A)
科目番号	02DSA32
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火4
担当教員	谷口 孝介
授業概要	『白氏文集』巻十二感傷詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE32と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「1.知の活用力」「5.国際性」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「3.倫理観」「4.思考力」に関連する
授業の到達目標（学修成果）	相対性のなかで文学表現の価値を考察することができるようになる
授業計画	毎回受講者が担当箇所について調査発表を行い、それについて検討を加える。 講義の目的と方法 講義で扱う資料の概観 578番詩1-8句目の訓読と本文異同 578番詩1-8句目の注解 578番詩9-16句目の訓読と本文異同 578番詩9-16句目の注解 579番詩1-8句目の訓読と本文異同 579番詩1-8句目の注解 579番詩9-16句目の訓読と本文異同 579番詩9-16句目の注解
履修条件	
成績評価方法	1評価方法:分担箇所の注釈報告及び討議参加の態度 2割合:報告70%、討議参加30% 3評価基準:問題点を整理することができたか、解決のいとぐちを提示することができたかを基準に評価する
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	1講義(30%)と演習(70%)とを併用する 2次回の授業範囲を予習し、注釈などに目を通しておくこと
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木:3時限目 人文社会学系棟 A516 taniguchi.kosuke.gm at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	02DS314 和漢比較文学研究(2B)
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	

キーワード	白居易，感傷詩，金沢文庫本，旧鈔本，詩的言語，訓点資料，注解
-------	--------------------------------

授業科目名	和漢比較文学研究(2B)
科目番号	02DSA33
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火4
担当教員	谷口 孝介
授業概要	『白氏文集』巻十二感傷詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の感傷詩の表現を吟味する。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE33と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「1.知の活用力」「5.国際性」、専門コンピテンス「1.研究力」「2.専門知識」「4.思考力」に関連する
授業の到達目標（学修成果）	文化・言語の接触において生じる新しい価値について思考できるようになる
授業計画	毎回受講生が担当箇所について調査発表を行い、それについて検討を加える 講義の目的と方法 金澤文庫本『白氏文集』について 580番詩1~10句目の訓読と本文異同 580番詩1~10句目の注解 580番詩11~22句目の訓読と本文異同 580番詩11~22句目の注解 581番詩1~10句目の訓読と本文異同 581番詩1~10句目の注解 581番詩11~20句目の訓読と本文異同 581番詩11~20句目の注解
履修条件	
成績評価方法	1評価方法:分担箇所の注釈報告及び討議参加の態度 2割合:報告70%、討議参加30% 3評価基準:問題点を整理することができたか、解決のいとぐちを提示することができたかを基準に評価する
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	1講義(30%)と演習(70%)とを併用する 2次回の授業範囲を予習し、注釈などに目を通しておくこと
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木:3時限目 人文社会学系棟 A516 taniguchi.kosuke.gm at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	02DS313 和漢比較文学研究(2A)
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	

キーワード	白居易，感傷詩，金沢文庫本，旧鈔本，詩的言語，訓点資料，異言語接触
-------	-----------------------------------

授業科目名	日本中古文学研究(1A)
科目番号	02DSA34
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木2
担当教員	吉森 佳奈子
授業概要	注釈史のなかで、注釈書が『源氏物語』を離れて生きていった実態を、中世、近世に注目し、あきらかにすることをこころみる。あわせて、伝統的な文献学の方法が、通説のように『源氏物語』注釈書に無条件にあてはめ用いられるかについて問い、従来、価値のないものとして顧みられることの少なかった近世末期の転写本を生んだ状況を具体的に問う。
備考	西暦偶数年度開講。 OABAE34と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「批判的・創造的思考力」、「文化的現象の分析力」、「国際的な主体性」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	履修者は、広い視野の上に立つ国際的なコミュニケーション能力・主体性の養成に不可欠な、日本における文化的現象の分析力について学修する。 『源氏物語』を、古注所引の歴史記述に注目し、史実と物語のあいだについて考え、年代記類生成の現場を探ることをとおして、批判的・創造的思考力を身につける。
授業計画	『源氏物語』を、古注釈書の説を見ながらよむ。 資料の調べ方にかんする演習。 『源氏物語』注釈書概説(古注)。 『源氏物語』注釈書概説(旧注)。 年代記類と『源氏物語』注釈について。 『源氏物語』古注所引の歴史記述について。 『源氏物語』導入演習。第一回)。 『源氏物語』導入演習。第二回)。 『源氏物語』古注所引の年代記類にかんする演習。第一回)。 『源氏物語』古注所引の年代記類にかんする演習。第二回)。 まとめの討議。
履修条件	
成績評価方法	演習(100%)。資料調査(60%)、報告・討議(40%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修は、図書館に所蔵される資料を中心に行えるよう、毎時指示する。学修時間にかんしても、その際に指定する。
教材・参考文献・配付資料等	使用する資料については、そのつど指示する(テキストとして角川ソフィア文庫『源氏物語』があげてありますが、PC上で削除ができなかったため、テキストについては、授業のすすめ方とあわせ、初回授業で指示します)。
オフィスアワー等(連絡先含む)	金6限オフィスアワー。電子メールでご連絡のうえ、いらっしゃるのが確実です。 人文社会学系棟 A605 yoshimori.kanako.fn at u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	
他の授業科目との関連	

ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	配置なし。
キーワード	『源氏物語』，『一代要記』，年代記

授業科目名	日本中古文文学研究(1B)
科目番号	02DSA35
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木2
担当教員	吉森 佳奈子
授業概要	『源氏物語』注釈史研究。 文学史という視点で『源氏物語』注釈史を顧み、中古、中世および近世の教養の基盤について考察する知識、技術を得る。注釈史、享受史がとぎれることがなかったという点で『源氏物語』は、物語作品として特異な存在といえる。そのことに留意し、『源氏物語』を文学史のなかで捉えだすことをこころみる。その過程でとくに、『源氏物語』の諸本について、その注釈史と不可分の問題をもつことについて具体的に考察する。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE35と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「批判的・創造的思考力」、「文化的現象の分析力」、「国際的な主体性」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	履修者は、広い視野の上に立つ国際的なコミュニケーション能力・主体性の養成に不可欠な日本における文化研究の知識・方法について学修し、批判的・創造的思考力を身につける。 『源氏物語』を、古注と旧注のあいだに注目して、注釈史を学び、文化的現象の分析力を養う。あわせて、問題を自分のものとするために考察を進める技術、知識を得る。
授業計画	『源氏物語』薄雲巻をよむ。 『源氏物語』注釈史概説。 『源氏物語』演習(注釈史導入演習)。 『源氏物語』演習(『紫明抄』。第一回)。 『源氏物語』演習(『紫明抄』。第二回)。 『源氏物語』演習(『河海抄』。第一回)。 『源氏物語』演習(『河海抄』。第二回)。 『源氏物語』演習(『河海抄』。第三回)。 『源氏物語』演習(『花鳥余情』。第一回)。 『源氏物語』演習(『花鳥余情』。第二回)。 まとめの討議。
履修条件	
成績評価方法	演習(100%)。資料調査(60%)、報告・討議(40%)。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修は、図書館に所蔵される資料を中心に行えるよう、毎時指示する。学修時間にかんしても、その際に指定する。
教材・参考文献・配付資料等	角川ソフィア文庫を、教科書欄にあげていますが、PC上で削除ができなかったためで、使用する資料については、初回授業時に指示します。
オフィスアワー等（連絡先含む）	金6限オフィスアワー。電子メールでご連絡のうえ、いらっしゃるのが確実です。 人文社会学系棟 A605 yoshimori.kanako.fn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意	

点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	配置なし。
キーワード	『源氏物語』，『河海抄』，『花鳥余情』

授業科目名	日本中古文学研究(2A)
科目番号	02DSA36
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木2
担当教員	吉森 佳奈子
授業概要	平安時代の散文作品をとりあげる。とくに注釈研究の基本を身につける。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE36と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「批判的・創造的思考力」、「文化的現象の分析力」、「国際的な主体性」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	広い視野の上に立つ国際的なコミュニケーション能力・主体性の養成に不可欠な日本・アジア領域における文化研究の知識・方法について学修する。 『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目し、年代記類生成の現場を探る。あわせて、問題を自分のものとするために考察を進める技術、知識を得る。
授業計画	『源氏物語』葵巻をよむ。『源氏物語』以外の平安作品の注釈史とのかかわりに目をやり、『源氏物語』がなりたつ基盤となったものを具体的にあきらかにすることをこころみる。 『源氏物語』注釈書とその時代にかんする概説。 年代記類と『源氏物語』注釈について。 類書と『源氏物語』注釈について。 『源氏物語』葵巻演習（古注所引の年代記類にかんする演習）。 『源氏物語』葵巻演習（史実と物語のあいだ）。 『源氏物語』葵巻演習（先例としての『源氏物語』）。 『源氏物語』葵巻演習（古字書類と『源氏物語』注釈）。 『源氏物語』以外の平安作品の注釈史概説。 『源氏物語』葵巻演習（歌学と『源氏物語』注釈）。 まとめ。
履修条件	
成績評価方法	演習（100％）。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修は、図書館に所蔵される資料を中心に行えるよう、毎時指示する。学修時間にかんしても、その際に指定する。
教材・参考文献・配付資料等	使用テキスト、資料等は初回に概説、指示する。必要な資料については、そのつど指示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	金6限オフィスアワー。電子メールでご連絡のうえ、いらっしゃるのが確実です。 人文社会学系棟 A605 yoshimori.kanako.fn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	類書等、研究に必要な資料を的確に使いこなせるようになること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置なし。

キーワード	『源氏物語』，『帝王編年記』，『一代要記』
-------	-----------------------

授業科目名	日本中古文学研究(2B)
科目番号	02DSA37
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木2
担当教員	吉森 佳奈子
授業概要	平安時代の散文作品をとりあげる。注釈研究の問題の立て方を学ぶ。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE37と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「批判的・創造的思考力」、「文化的現象の分析力」、「国際的な主体性」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	広い視野の上に立つ国際的なコミュニケーション能力・主体性の養成に不可欠な日本・アジア領域における文化研究の知識・方法について学修する。 『源氏物語』について、文学史の諸問題を意識し、本文間の異文が生じた経緯を、注釈書、梗概書の記事から考察する。さらに、享受者に、武士、連歌師が加わったことで、この作品の理解がどのように変わっていったかを具体的に考える。
授業計画	『源氏物語』葵巻をよむ。注釈書の記述をていねいに見、その依拠したもの、注釈者たちの教養の基盤について考える。 『源氏物語』 注釈史概説。 『源氏物語』 葵巻演習（『紫明抄』に注目して）。 『源氏物語』 葵巻演習（『光源氏物語抄』に注目して）。 『源氏物語』 葵巻演習（『河海抄』に注目して）。 『源氏物語』 葵巻演習（花宴巻までの『河海抄類字』に注目して）。 『源氏物語』 葵巻演習（『花鳥余情』に注目して）。 『源氏物語』 葵巻演習（『花鳥余情』の年立研究）。 『源氏物語』 葵巻演習（古注と旧注のあいだ）。 『源氏物語』 葵巻演習（連歌師の『源氏物語』享受。三条西家とのかかわり）。 まとめ。
履修条件	
成績評価方法	演習（100％）。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修は、図書館に所蔵される資料を中心に行えるよう、毎時指示する。学修時間にかんしても、その際に指定する。
教材・参考文献・配付資料等	教材はプリント配布。参考文献等にかんしては、授業をすすめながら指示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	金6限オフィスアワー。電子メールでご連絡のうえ、いらっしゃるのが確実です。 人文社会学系棟 A605 yoshimori.kanako.fn at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	注釈書、類書等、資料を手にとることに慣れること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置なし。

キーワード	『源氏物語』、『紫明抄』、『光源氏物語抄』、『河海抄』、『花鳥余情』、『弄花抄』、『河海抄類字』
-------	--

授業科目名	日本近代文学研究(1A)
科目番号	02DSA38
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木4
担当教員	馬場 美佳
授業概要	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE38と同一。
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「コミュニケーション能力」「研究力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	日本近代文学研究の態度から、発展的な課題を発見すること。
授業計画	作品を丁寧に語釈・注釈し、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているか分析していく。演習形式。 調査研究の方法について 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 総括
履修条件	日本近代文学研究(1B)と合わせて履修することが望ましい。いずれかの場合のみは、事前に教員に連絡をすること。
成績評価方法	発表内容(50%)、討論等への参加態度(50%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回取り上げられる文学作品を精読し、疑問を準備した上で参加するように。特に近代文学研究の立場を共有すると同時に、自身の専門への活用も意識して学修を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	配布資料は発表担当者が人数分用意する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 人文社会系棟B418 baba.mika.ge at u.tsukuba.ac.jp メール等にて受け付ける。また面談を希望する場合は、事前に問い合わせをすることが望ましい。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	

アシスタント (TA)	
キーワード	日本近代文学・注釈・書誌・作品理解

授業科目名	日本近代文学研究(1B)
科目番号	02DSA39
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木4
担当教員	馬場 美佳
授業概要	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE39と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「コミュニケーション能力」「研究力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	日本近代文学研究の態度から、発展的な課題を発見すること。
授業計画	作品を丁寧に語釈・注釈し、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているか分析していく。演習形式。 研究調査方法について 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 総括
履修条件	日本近代文学研究(1A)と合わせて履修することが望ましい。いずれかのみの場合は、事前に教員に連絡をすること。
成績評価方法	発表内容(50%)、討論等への参加態度(50%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回取り上げられる文学作品を精読し、疑問を準備した上で参加するように。特に近代文学研究の立場を共有すると同時に、自身の専門への活用も意識して学修を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	配布資料は発表担当者が人数分用意する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 人文社会系棟B418 baba.mika.ge at u.tsukuba.ac.jp メール等にも受け付ける。また面談を希望する場合は、事前に問い合わせをすることが望ましい。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー	

(TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	日本近代文学・注釈・書誌・作品理解

授業科目名	日本近代文学研究(2A)
科目番号	02DSA41
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木4
担当教員	馬場 美佳
授業概要	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。
備考	人社A101 西暦奇数年度開講。 0ABAE41と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「コミュニケーション能力」「研究力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	日本近代文学研究の態度から、発展的な課題を発見すること。
授業計画	作品を丁寧に語釈・注釈し、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているか分析していく。演習形式。 研究調査方法について 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 総括
履修条件	日本近代文学研究(2B)と合わせて履修することが望ましい。いずれかのみの場合は、事前に教員に連絡をすること。
成績評価方法	発表内容(50%)、討論等への参加態度(50%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回取り上げられる文学作品を精読し、疑問を準備した上で参加するように。特に近代文学研究の立場を共有すると同時に、自身の専門への活用も意識して学修を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	配布資料は発表担当者が人数分用意する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 人文社会系棟B418 baba.mika.ge at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	

アシスタント (TA)	
キーワード	日本近代文学・注釈・書誌・作品理解

授業科目名	日本近代文学研究(2B)
科目番号	02DSA42
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木4
担当教員	馬場 美佳
授業概要	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE42と同一。 対面 人社棟A520
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「コミュニケーション能力」「研究力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	日本近代文学研究の態度から、発展的な課題を発見すること。
授業計画	作品を丁寧に語釈・注釈し、同時代のいかなる文学観や創作方法を念頭に置いて書かれているか分析していく。演習形式。 研究調査方法について 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 個人発表 総括
履修条件	日本近代文学研究(2A)と合わせて履修することが望ましい。いずれかのみの場合は、事前に教員に連絡をすること。
成績評価方法	発表内容(50%)、討論等への参加態度(50%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回取り上げられる文学作品を精読し、疑問を準備した上で参加するように。特に近代文学研究の立場を共有すると同時に、自身の専門への活用も意識して学修を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	配布資料は発表担当者が人数分用意する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 人文社会系棟B418 baba.mika.ge at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	

アシスタント (TA)	
キーワード	日本近代文学・注釈・書誌・作品理解

授業科目名	イギリス文学研究(2A)
科目番号	02DSA45
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火5
担当教員	佐野 隆弥
授業概要	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の基本的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイ力の構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED 等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Julius Caesarを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を議論を通して涵養する。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE45と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	シェイクスピアの戯曲テキストを正確に読解でき、専門知識を習得できるようになる。先行研究についての的確なサーヴェイと重要なデータの抽出ができるようになる。論理的で説得力のある論文作成のスキルを習得することができ、思考力を涵養することができるようになる。
授業計画	イントロダクション、Julius Caesar 1幕1場の講読および議論 Julius Caesar 1幕2場の講読および議論(1) Julius Caesar 1幕2場の講読および議論(2) Julius Caesar 1幕3場の講読および議論(1) Julius Caesar 1幕3場の講読および議論(2) Julius Caesar 2幕1場の講読および議論(1) Julius Caesar 2幕1場の講読および議論(2) Julius Caesar 2幕2場の講読および議論(1) Julius Caesar 2幕2場の講読および議論(2) Julius Caesar 2幕3・4場の講読および議論
履修条件	
成績評価方法	A.平常パフォーマンス(40%)：「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」 B.期末レポート(60%)：「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	予習時に参考文献を精読し、専門用語の意味を正確に理解しておくこと。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意	

点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	シェイクスピア, エリザベス朝演劇, 悲劇

授業科目名	イギリス文学研究(2B)
科目番号	02DSA46
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火5
担当教員	佐野 隆弥
授業概要	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の発展的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイ力の構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED 等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Julius Caesarを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を涵養した上で、オリジナリティのある論文作成のスキルを議論を通して習得させる。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE46と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	シェイクスピアの戯曲テキストを正確に読解でき、専門知識を習得できるようになる。先行研究についての的確なサーヴェイと重要なデータの抽出ができるようになる。論理的で説得力のある論文作成のスキルを習得することができ、思考力を涵養することができるようになる。
授業計画	Julius Caesar 3幕1場の講読および議論(1) Julius Caesar 3幕1場の講読および議論(2) Julius Caesar 3幕2場の講読および議論 Julius Caesar 3幕3場の講読および議論 Julius Caesar 4幕1場の講読および議論 Julius Caesar 4幕2場の講読および議論(1) Julius Caesar 4幕2場の講読および議論(2) Julius Caesar 4幕3場の講読および議論 Julius Caesar 5幕の講読および議論 Julius Caesar に関する論文講読
履修条件	
成績評価方法	A.平常パフォーマンス(30%)：「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」 B.期末レポート(70%)：「知の活用力」「専門知識」「思考力」「総合力」
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	予習時に参考文献を精読し、専門用語の意味を正確に理解しておくこと。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意	

点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	シェイクスピア, エリザベス朝演劇, 悲劇

授業科目名	英語圏文学文化研究(2B)
科目番号	02DSA51
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 金2
担当教員	
授業概要	
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE51と同一。 英語で授業。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	
授業の到達目標（学修成果）	
授業計画	
履修条件	
成績評価方法	
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	

授業科目名	フランス文学研究(1A)
科目番号	02DSA52
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 金3
担当教員	小川 美登里
授業概要	20世紀以降のフランス文学を思想的・文化的背景とともに考える。文学におけるジャンルの解体と再構築（ロマン、レシ、詩、エッセイなど）、あるいは哲学、絵画、音楽との交流を視野に入れながら、現代文学の特徴について考える。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE52と同一。 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	フランス文学と周辺の文献を読解することで、文学を通して社会、思想、文化を読み解く。
授業計画	フランス文学作品を読むに当たり、その理解と読解に必要な知識に目配りしながら、社会、文化、芸術との関連性について考える。とりわけ20世紀の文学と音楽の関係性についての文献を読む。 イントロダクション:二十世紀の文学と音楽（フランスを中心に） 近代以前の音楽（ロマン主義を中心に） 近代音楽とは何か：近代／音楽／文学 20世紀初頭：印象主義、象徴主義、未来派 大戦間の熱狂：ジャズと文学 1945年以後の文学と音楽 ジャンルの広がり：ポストモダニズムの音楽 音楽と文学の交わり：テキストとの関係から（1） 音楽と文学の交わり；テキストとの関係から（2） 授業の総括とまとめ 音楽と文学の関係性を扱った文献を中心に、詩やエッセイなども扱う。
履修条件	テキストを読解するために必要なフランス語能力(初級・中級程度の文法習得者)。講義形式と演習形式の両方で授業を行うことがある。
成績評価方法	1評価方法:授業参加、授業内での発表 2割合:授業参加50パーセント、発表50パーセント 3評価基準:授業内での参加態度、発表の評価
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業内で扱うテキストの予習、授業内の発表の準備
教材・参考文献・配付資料等	オード・ロカッテリ著、大森晋輔訳、「二十世紀の文学と音楽」、白水社／E・ソーズマン著、松前紀男ほか訳、「20世紀の音楽」、東海大学出版会／Jean Echenoz, Ravel, Minuit ほか。
オフィスアワー等（連絡先含む）	基本的には水曜午後であるが、あらかじめ連絡をとることが望ましい 人文社会学系棟 B409 ogawa.midori.gu at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意	初回授業の日時にmanabaのkの科目にアクセスしてください。manabaにアクセスできない人はogawa.midori.gu@u.tsukuba.ac.jp にメールを送ってください。

点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	フランス語圏文学，テキスト分析，批評，芸術，文化

授業科目名	フランス文学研究(1B)
科目番号	02DSA53
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 水3
担当教員	小川 美登里
授業概要	フランス文学界最高の文学賞であるゴンクール賞に焦点を当て、ゴンクール賞を受賞した作品、あるいはノミネートされた作品を読み、フランス現代文学の傾向を探る。文化、思想、社会との関連も射程に入れる。
備考	西暦偶数年度開講。 0ABAE53と同一。 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス1「研究力」、専門コンピテンス2「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	フランス文学界における最高の文学賞であるゴンクール賞をテーマとし、過去の受賞作品や受賞作家、近年あるいは2022年度の受賞作や候補作を読むことで、現代文学の傾向や特徴をとらえる。
授業計画	フランス文学の中の最高の小説に毎年与えられるゴンクール賞。その年々の受賞作を見ると、現代文学の動向や傾向がわかるのではないか。授業ではかつての受賞作や作家たち、あるいは近年、2022年度の受賞作や候補作をフランス語あるいは翻訳で読むことで、フランス文学への知識を深めるとともに、小説を介して見えてくる思想、文化、社会について考える。 ゴンクール賞とはなにか；受賞作の紹介 ゴンクール賞の傾向と現代文学の動向 ゴンクール賞作家を読む（１）：デュラス ゴンクール賞作家を読む（２）：ンディアイ ゴンクール賞作家を読む（３）：ンディアイ（２） ゴンクール賞作家を読む（４）：エシュノーズ ゴンクール賞作家を読む（５）：ウエルベック 現代のゴンクール賞（１） 現代のゴンクール賞（２） まとめ 授業は状況に応じて対面あるいはオンライン（双方型）で行う。
履修条件	フランス文学作品の読解を含むため、フランス語の知識が望ましい。
成績評価方法	課題の提出、ディスカッションへの参加などを総合的に判断する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業は受講者の人数などに応じて、講義と演習を組み合わせることもある。 授業外における学習内容は、授業で学ぶテキストの予習と、授業内容(資料)や発表へのコメント、課題の準備である。
教材・参考文献・配付資料等	授業で具体的に使用する教材や文献については、適宜準備する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	基本的には水曜午後であるが、あらかじめ連絡をとることが望ましい 人文社会学系棟 B409 ogawa.midori.gu at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	フランス語で書かれた資料を読解するため、フランス語を習得していることが望ましい。

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	フランス文学, テキスト, フィクション, 批評, ジェンダー, 言語, 芸術

授業科目名	フランス文学研究(2A)
科目番号	02DSA54
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 金5
担当教員	小川 美登里
授業概要	20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。地理的広がり（北アフリカやカリブ海など、フランス語圏文学の射程は大きく広がった）のみならず、複数の言語、複数の文化背景をもつ作家たちも排出された。その一方で、文学そのものの定義も広がった。言語、哲学、イメージ、音楽を自由に行き来するフィクションや批評も多く生み出された。本講義ではとくに音楽／言語／文化の関係に焦点を当てる。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE54と同一。 対面(オンライン併用型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	フランス文学に関する作品や批評を精読する技術を身につける。フランス語のテキストを読解する能力を養う。時代ごとの文学運動や潮流、批評方法などを理解し、現代の問題意識と結びつけて論ずる能力を身につける。
授業計画	二十世紀以降の文学理論や批評の潮流を理解し、学術的な論述の方法を学ぶ。具体的には、エドワード・W・サイードの『晩年のスタイル』（2006）を精読し、音楽／文学／文化／社会の関係性について考える。 サイードの批評の射程：『晩年のスタイル』（序） 「時宜を得ていることと遅延していること」（第1章） 「十八世紀への回帰」（1）（第2章） 「十八世紀への回帰」（2）（第2章） 「限界にたつ『コシ・ファン・トゥッテ』」（1）（第3章） 「限界にたつ『コシ・ファン・トゥッテ』」（2）（第3章） 「知識人としてのヴィルトゥオーソ」（1）（第6章） 「知識人としてのヴィルトゥオーソ」（2）（第6章） 「晩年のスタイル瞥見」（ブリテン、『ヴェニスに死す』）（1）（終章） 「晩年のスタイル瞥見」（ブリテン、『ヴェニスに死す』）（2）（終章） 芸術作品と時代の関係性について考察するとともに、ひとりの芸術家の創造活動における「晩年のスタイルlate style」の特徴について考える。
履修条件	文献は日本語で購読するため、とくにフランス語の知識は必要ないが、扱う内容が音楽作品のため、とくにオペラについては若干の知識が必要とされる。
成績評価方法	学期中の課題50%、期末課題50%で評価を行う。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で扱うテキストをあらかじめ読んでおくことが望ましい。
教材・参考文献・配付資料等	授業で扱うテキストは購入するか図書館で借りるなど、各自、準備してほしい。
オフィスアワー等（連絡先含む）	あらかじめメールで連絡し、予約を取ってください。 基本的には水曜午後であるが、あらかじめ連絡をとることが望ましい 人文社会学系棟 B409 ogawa.midori.gu at u.tsukuba.ac.jp

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	人文学，外国文学，フランス文学，批評，言語，芸術

授業科目名	フランス文学研究(2B)
科目番号	02DSA55
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 水3
担当教員	小川 美登里
授業概要	20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。本講義では言語表象やフィクションの意味を問い直しながら、小説作品を分析する。対象となるのは20世紀・21世紀を代表する小説作品であり、読解を通して具体的な分析方法を学ぶ。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE55と同一。 対面(オンライン併用型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2「専門知識」
授業の到達目標（学修成果）	フランス文学に関する作品や批評を精読する技術を身につける。フランス語のテキストを読解する能力を養う。時代ごとの文学運動や潮流、批評方法などを理解し、現代の問題意識と結びつけて論ずる能力を身につける。
授業計画	19世紀～20世紀の小説作品を読みながら、それぞれの作品の特徴、時代や思想背景、作品の含み持つテーマやプロブレマティックなどを分析する。 後期ロマン主義からの異国趣味へ（１）（メリメ『カルメン』） 後期ロマン主義からの異国趣味へ（２）（メリメ『カルメン』） シュールレアリスムの文学（１）ブルトン『ナジャ』 シュールレアリスムの文学（２）ブルトン『ナジャ』 新古典主義（１）コクトー『恐るべき子供たち』 新古典主義（２）コクトー『恐るべき子供たち』 ユマニズム（１）サン＝テグジュペリ『人間の土地』 ユマニズム（２）サン＝テグジュペリ『人間の土地』 ヌーヴォー・ロマン（１）デュラス『苦悩』 ヌーヴォー・ロマン（２）デュラス『苦悩』 授業は一部演習形式で行うため、各自、作品を読むことが必要とされる。
履修条件	テキストは日本語・フランス語のどちらかで読み、分析する。
成績評価方法	テキストを読解する能力、研究発表、授業中のコメント、課題の内容によって判断する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で扱うテキストをあらかじめ読んでおくことが望まれる。
教材・参考文献・配付資料等	授業で扱うテキストは図書館で借りるなど、各自、準備する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	あらかじめメールで連絡し、予約を取ってください。 基本的には水曜午後であるが、あらかじめ連絡をとることが望ましい 人文社会学系棟 B409 ogawa.midori.gu at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	

ティーチングフェロー (TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	人文学，外国文学，フランス文学，批評，言語，芸術

授業科目名	フランス文学演習(1A)
科目番号	02DSA56
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木3
担当教員	増尾 弘美
授業概要	ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わるのかについて考察する。具体的な作家としてはラシーヌ、セヴィニエ夫人、サン＝シモン等を取り上げるが、サン＝シモンに関してはブルースト自身による模作も存在するので、それも考察対象とする。
備考	西暦偶数年度開講。 OABAE56と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2.「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	フランス語の文献を読み解くことによって、専門知識を身につける。
授業計画	ラシーヌについて ラシーヌとブルーストについて ラシーヌと『失われた時を求めて』の登場人物との関わりについて セヴィニエ夫人について セヴィニエ夫人とブルーストについて セヴィニエ夫人と『失われた時を求めて』の登場人物との関わりについて サン＝シモンについて サン＝シモンとブルーストについて ブルーストによるサン＝シモンの模作について サン＝シモンと『失われた時を求めて』の登場人物との関わりについて
履修条件	
成績評価方法	学期末レポート(60%)と授業時での発表(40%)で総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で学んだことを、学位論文の執筆に役立てること。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	

キーワード	フランス文学, プルースト
-------	---------------

授業科目名	フランス文学演習(1B)
科目番号	02DSA57
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木3
担当教員	増尾 弘美
授業概要	プルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わるのかについて考察する。具体的な作家としてはバルザック、フローベール、サント=ブーヴ等を取り上げるが、プルースト自身による彼らの模作も射程に入れながら、模作や批評がどのように小説へと変貌を遂げたのかについても考察する。
備考	西暦偶数年度開講。 OABAE57と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2.「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	フランス語の文献を読み解くことによって、専門知識を身につける。
授業計画	人文社会学系棟B410にて、対面で行います。 バルザックについて プルーストによるバルザックの模作について バルザックと『失われた時を求めて』の登場人物との関わりについて フローベールについて プルーストによるフローベールの模作について プルーストによるフローベール論について サント=ブーヴについて プルーストによるサント=ブーヴの模作について プルーストによるサント=ブーヴ反論について 「サント=ブーヴとバルザック」について
履修条件	
成績評価方法	学期末レポート(60%)と授業時の発表(40%)で総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で学んだことを学位論文執筆に生かすこと。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 masuo.hiromi.fm at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	

アシスタント (TA)	
キーワード	フランス文学, プルースト

授業科目名	フランス文学演習(2A)
科目番号	02DSA58
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木3
担当教員	増尾 弘美
授業概要	ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた美術作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わるのかについて考察する。画家エルスチールについてはもとより、美術愛好家スワンに関しては現実の人間を絵画中の人物と同一視するという偶像崇拝の傾向があるので、それも芸術作品制作を阻むものという位置付けで見ていく。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE58と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2.「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	フランス語文献を読み解くことによって、専門知識を身につける。
授業計画	画家エルスチールと美術愛好家スワンを比較する ブルーストとフェルメールについて ブルーストとホイッスラー、モネについて ブルーストとギュスターヴ・モローについて ブルーストとターナーについて ブルーストとラファエル前派について ブルーストとジョット、マンテーニャについて ブルーストとカルパッチョについて ブルーストとシャルダン、レンブラントについて ブルーストとマネについて
履修条件	
成績評価方法	学期末レポート(60%)と授業時の発表(40%)で総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	演習100%。 予習：フランス語文献の意味を取る。 復習：授業で学んだことを、学位論文執筆に生かしていくこと。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 masuo.hiromi.fm at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	配置なし

アシスタント (TA)	
キーワード	フランス文学, プルースト

授業科目名	フランス文学演習(2B)
科目番号	02DSA59
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木3
担当教員	増尾 弘美
授業概要	プルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた音楽作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わるのかについて考察する。『ペレアスとメリザンド』のドビュッシー、19世紀フランスでワグネル主義の興隆を見たワーグナー、そして後期弦楽四重奏曲が流行ったベートーヴェンを主な考察対象とする。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE59と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	専門コンピテンス2.「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	フランス語文献を読み解くことによって、専門知識を身につける。
授業計画	バルザックについて プルーストによるバルザックの模作について バルザックと『失われた時を求めて』の登場人物との関わりについて フローベールについて プルーストによるフローベールの模作について プルーストによるフローベール論について サント=ブーヴについて プルーストによるサント=ブーヴの模作について プルーストによるサント=ブーヴ反論について 「サント=ブーヴとバルザック」について
履修条件	
成績評価方法	学期末レポート(60%)と授業時の発表(40%)で総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	演習100%。 予習：フランス語文献の意味を取る。 復習：授業で学んだことを、学位論文執筆に生かしていくこと。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	木曜5限 masuo.hiromi.fm at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置なし

キーワード	フランス文学, プルースト
-------	---------------

授業科目名	Transnational Literature (2)
科目番号	02DSA63
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 火4
担当教員	ヘーゼルハウス, ヘラト
授業概要	This course focuses on “Relational Studies in Literature” and analyzes and discusses how texts connect in literature, culture and politics in an international framework. The course will be based on the analysis and interpretation of interconnected primary literary texts proposed by the instructor or participants. It will also introduce and discuss various conceptualizations of “intertextuality”, “relationality”, “multilingualism” and translation”.
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE63と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	Communication Skills, Data Information Literacy, International Communication
授業の到達目標（学修成果）	Knowledge in Feminist and Gender Studies, and Critical Theories Understanding various meanings of "woman" and their history and power structures in diverse uncritical and critical discourses Learning to critically analyze concepts of emotion and their power-related background. Learning to critically analyze philosophical, theological, psychological, medical, and political theories. Learning to critically analyze cultural, literary, and artistic texts. Understanding and applying Critical Thinking Improvement of knowledge in English and capabilities in English-language academic writing.
授業計画	Angry Women: According to the BBC and other media outlets and journalists, the annual 2022 Gallup poll suggests that women, on average worldwide, have been getting angrier over the past 10 years (see the situation in Afghanistan and Iran). Starting from these findings, this class will investigate the construction of “woman” and the construction of “anger” and its gendered mapping in various uncritical and critical discourses, and especially in literature. From the start, the discussions and analyses will be based on material known to the participants from last year (i.e.: Euripides, Jelinek, and Tokarczuk). Introduction to the class: BBC on the annual global Gallup Poll of 2022 and the situation of women world-wide (Afghanistan, Iran etc.) What is a woman? I (medico-biological, theological, philosophical, and feminist perspectives) What is a woman? II (philosophical, post-humanist, and feminist perspectives) What is anger? I (literary example: “The Book of Jonah”

授業計画	What is anger? II (discourses: medico-psychological, theological, ethical, and feminist) Literary examples I: Euripides and ancient machismo/patriarchy Literary examples II: Tokarczuk and modern machismo/patriarchy Literary examples III: Jelinek and the power of anger Revision of theoretical perspectives I Revision of theoretical perspectives II and Outlook If necessity requires, schedule and material may be changed.
履修条件	Because this class is based on prior material and information it is only open to students who participated in last year's class "Applied Humanities (1)". If you have not participated in that class, there will be a prior screening process. In this case, please contact me before the class has started. Check reading prerequisites under "Textbooks".
成績評価方法	Weekly performance in class will be graded and most important (60% of overall grade). Final paper (length depending on student's proficiency in English) and/or oral presentation (depending on size of class) will be graded (30% of overall grade). Homework (when given) and class preparations (connecting learning elements) will be graded (10% of overall grade). Absence from class follows general regulations.
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	Class consists of reading (20%) and discussions/understanding of material (80%). Students are expected to prepare lessons (homework and otherwise) and to revise learning contents on their own.
教材・参考文献・配付資料等	Reading list and material provided in class. Knowledge of the following texts is prerequisite: Euripides: "Iphigenia at Aulis", Tokarczuk: "Drive Your Plow Over the Bones of the Dead", Elfriede Jelinek: "Coda".
オフィスアワー等（連絡先含む）	After prior appointment by mail to: heselhaus.herrad.fw@u.tsukuba.ac.jp Tuesdays 16:30-17:30, office: Jinshato A510 (across from the main university Library). 木: オフィスアワー 12:45-13:45 人文社会学系棟 A510 heselhaus.herrad.fw at u.tsukuba.ac.jp https://herradheselhaus.weebly.com/
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	Feminism, Gender Studies, Critical Thinking

授業科目名	Applied Humanities (2)
科目番号	02DSA64
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火4
担当教員	ヘーゼルハウス, ヘラト
授業概要	The study of “Applied Humanities” answers to social and intellectual needs of society and is especially dedicated to the understanding and solution-finding processes of global and local crises. The course will focus on topical material (especially literary publications) concerning long-term crises or acute disaster. Students will have the opportunity to do original literary research connected to the course’s main topic.
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE64と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	Communication Skills, Data Information Literacy, International Communication
授業の到達目標 (学修成果)	Understanding and practicing academic writing in English and academic honesty Introduction of English-language style sheets: APA and MLA Understanding academic and scientific methodology and their history Practicing the analysis of contemporary western literature Practicing argumentative strategies and rhetoric Practicing English-language performance (orally and written)
授業計画	This class is an introduction to academic writing and honesty, in order to improve students’ understanding. It uses the short story “Metamorphosis” by Franz Kafka as an example to practice literary analysis and academic writing, especially quoting, referencing, bibliographies. The class is taught in English. Introduction to the class I: What is Academic/Scientific Writing? APA and MLA style sheets Introduction to the class I: What is Academic Honesty? Introduction to Franz Kafka: Metamorphosis and basic analysis Recognizing literary themes and theoretical frameworks and discourses I Recognizing literary themes and theoretical frameworks and discourses II Practicing academic quoting, referencing and bibliographies Student Presentations I: Practicing individual short academic statements Student Presentations II: Practicing individual short academic statements Student Presentations III: Practicing individual short academic statements Student Presentations IIII: Practicing individual short academic statements If necessity requires, schedule and material may be changed.
履修条件	Introductory level to Literature Studies, Academic Writing, and Academic Honesty.

履修条件	English for discussions, theoretical and literary reading, and academic writing.
成績評価方法	Weekly performance in class will be graded and most important (60% of overall grade). Final paper (length depending on student's proficiency in English) and/or oral presentation (depending on size of class) will be graded (30% of overall grade). Homework (when given) and class preparations (connecting learning elements) will be graded (10% of overall grade). Absence from class follows general regulations.
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	Class consists of reading (10%), discussions/understanding of material (60%), and student presentations (30%). Students are expected to present on academic writing orally/written, and to prepare lessons (homework and otherwise) and revise learning contents on their own.
教材・参考文献・配付資料等	Basic literary text: Franz Kafka: "Metamorphosis" (various translations in English and Japanese) Reading list and material provided in class.
オフィスアワー等（連絡先含む）	After prior appointment by mail to: heselhaus.herrad.fw@u.tsukuba.ac.jp Tuesdays 16:30-17:30, office: Jinshato A510 (across from the main university Library). 木: オフィスアワー 12:45-13:45 人文社会学系棟 A510 heselhaus.herrad.fw at u.tsukuba.ac.jp https://herradheselhaus.weebly.com/
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	Academic Writing, Referencing, Quoting, Thematic analyses, Modern European Literature, English Language

授業科目名	中国文学研究(2A)
科目番号	02DSA67
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	春AB 木5
担当教員	稀代 麻也子
授業概要	論理的な思考力を鍛えて知の活用力をつけるために、集注本で『文選』を読み、各注の特徴を確認することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻48所収の詩・巻59所収の雑詩・巻68所収の七・巻73所収の表・巻88所収の檄・巻94所収の賛・巻56所収の楽府・巻66所収の騷・巻98所収の史論を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。
備考	西暦奇数年度開講。 OABAE67と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス1「知の活用力」および専門コンピテンス1「研究力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	知の活用力を駆使し、各注の特徴を確認する。
授業計画	巻48の詩を読む。 巻59の雑詩を読む。 巻68の七を読む。 巻73の表を読む。 巻88の檄を読む。 巻94の賛を読む。 巻56の楽府を読む。 巻66の騷を読む。 巻98の史論を読む。 まとめ
履修条件	
成績評価方法	出席時の授業への積極性及び授業内提出物(50%)、発表および授業最終日提出物(50%)。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	演習(100%)。配付資料および参考文献等を精読し、専門用語の意味を正確に理解しておくこと。自分なりの考えをまとめておくこと。発表担当分については、資料を準備し、質疑に備えること。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	火曜 6 限 Teams（数日前までに メールで連絡してください。チームコードをお知らせします。） kishiro.mayako.ga at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置なし

キーワード	古典文学，歴史，思想，文献資料
-------	-----------------

授業科目名	中国文学研究(2B)
科目番号	02DSA68
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 木5
担当教員	稀代 麻也子
授業概要	論理的な思考力を鍛えて知の活用力をつけるために、『唐鈔文選集注彙存』を読み、補注をつけることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻56所収の楽府・巻61所収の雜擬・巻71所収の令・巻79所収の彈事・巻88所収の難・巻98所収の史論・巻59所収の雜詩・巻85所収の書・巻91所収の序を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。
備考	西暦奇数年度開講。 0ABAE68と同一。 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス1「知の活用力」および専門コンピテンス2「専門知識」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	専門知識を活用し、補注をつける。
授業計画	巻56の楽府を読む。 巻61の雜擬を読む。 巻71の令を読む。 巻79の彈事を読む。 巻88の難を読む。 巻98の史論を読む。 巻59の雜詩を読む。 巻85の書を読む。 巻91の序を読む。 まとめ
履修条件	
成績評価方法	出席時の授業への積極性及び授業内提出物(50%)、発表および授業最終日提出物(50%)。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	演習(100%)。配付資料および参考文献等を精読し、専門用語の意味を正確に理解しておくこと。自分なりの考えをまとめておくこと。発表担当分については、資料を準備し、質疑に備えること。
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	火曜 6 限 Teams（数日前までに メールで連絡してください。チームコードをお知らせします。） kishiro.mayako.ga at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	配置なし

キーワード	古典文学，歴史，思想，文献資料
-------	-----------------